

# どこでも写真管理 Plus<sup>+</sup>

Android 版

どこでも写真管理 Plus

コンクリート受入検査/圧縮強度検査

操作手順書 USB 接続

EX-TREND武蔵のコンクリート品質管理、どこでも写真管理Plusでデータを連携して、計測値を入力しながらコンクリート品質写真を撮影する操作を説明します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。  
ご了承ください。

※黒板作成・連携ツールのライセンスが必要です。

## 注意 使用時の注意点

下記を超えると、端末のメモリー等の仕様にもよりますが動作が不安定となる可能性がありますので、それ以下で運用することをお奨めします。

- ・黒板総数：200枚以下
- ・撮影済み写真は200枚程度を最大として、随時PCへ保存

# 目次

## Android版 どこでも写真管理Plus コンクリート受入検査/圧縮強度検査 操作手順書 USB接続

---

1. どこでも写真管理Plusについて _____	1
どこでも写真管理Plusの概要 _____	1
コンクリート品質データを転送する方法 _____	2
黒板・写真データを転送する方法 _____	2
2. コンクリート品質管理で工種分類を作成する _____	3
工種分類を作成する _____	3
3. 工種分類データをどこでも写真管理Plusに転送する _	8
工種分類データを転送する _____	8
4. どこでも写真管理Plusで品質データを入力する ____	13
工事データを作成する _____	13
工種分類データを取り込む _____	14
実測値を入力する _____	17
コンクリート品質写真を撮影する _____	18
5. 品質データをコンクリート品質管理に取り込む _____	23
コンクリート品質データを出力する _____	23
コンクリート品質データを取り込む _____	25
6. コンクリート品質写真を写真管理に取り込む _____	29
写真を取り込む _____	29

# 1

## どこでも写真管理 Plus について

どこでも写真管理Plusについて解説します。

### どこでも写真管理Plusの概要

EX-TREND武蔵 コンクリート品質管理、スマホアプリ「どこでも写真管理Plus」の連携について説明します。

どこでも写真管理Plusとは、電子小黑板機能付き工事写真撮影アプリです。

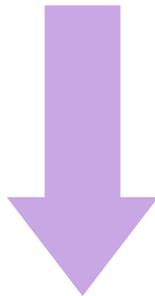
また、コンクリート品質の試験結果を直接入力することもできます。

※クラウド連携を使用する場合は「CIMPHONY Plus」の契約が必要です。

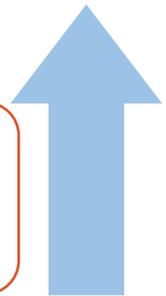


### 写真管理・コンクリート品質管理

EX-TREND武蔵 コンクリート品質管理で作成した工種分類データ（コンクリート配合、測定項目ごとの打設日・打設箇所・打設量・規格値）をスマホアプリ「どこでも写真管理Plus」に取り込み、測定値を入力しながらコンクリート品質写真を撮影します。



測定値、撮影したコンクリート品質写真をEX-TREND武蔵 コンクリート品質管理、写真管理に送信します。



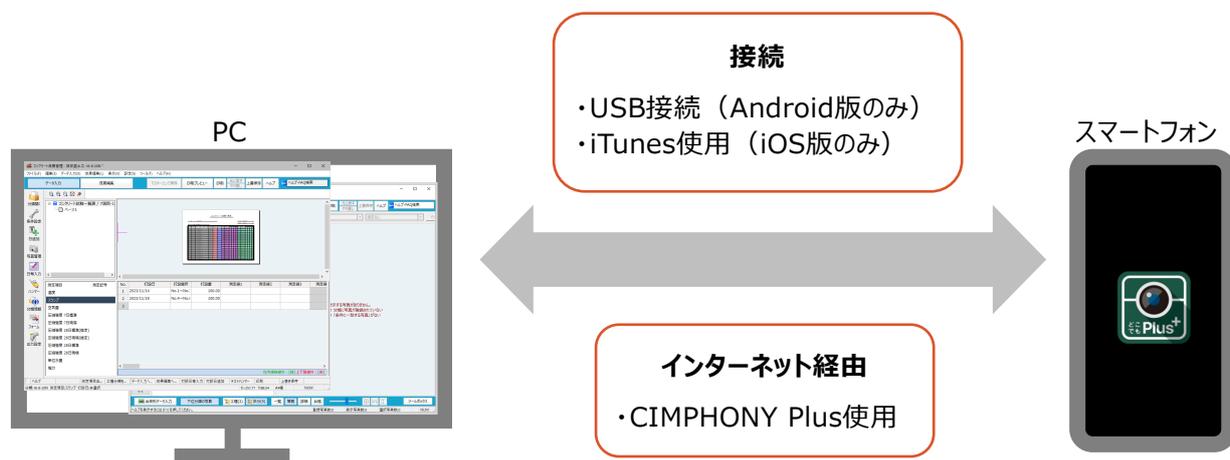
### スマホアプリ 「どこでも写真管理 Plus」

## コンクリート品質データを転送する方法

PCとスマートフォンでコンクリート品質データを転送する方法は3通りあります。

- ・USBで接続する（Android版のみ）
- ・CIMPHONY Plusを使用する（Android版・iOS版 共通）
- ・iTunesを使用する（iOS版のみ）

インターネットを経由する（CIMPHONY Plusを使用する）と、PCとスマートフォンが離れた場所（事務所と現場など）にある場合でもコンクリート品質データを転送できます。

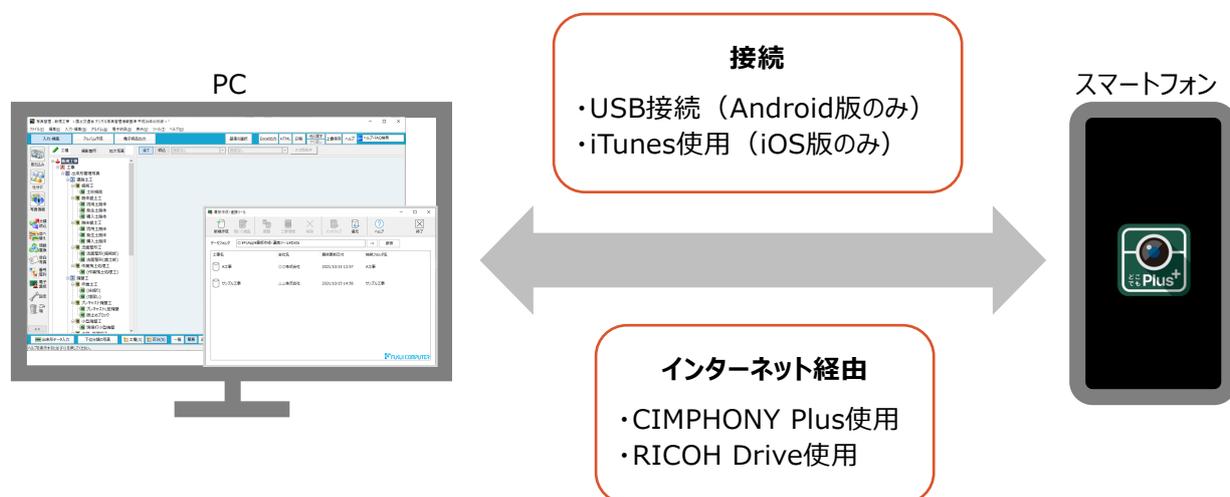


## 黒板・写真データを転送する方法

PCとスマートフォン間で黒板や写真データを転送する方法は4通りあります。

- ・USBで接続する（Android版のみ）
- ・CIMPHONY Plusを使用する（Android版・iOS版 共通）
- ・RICOH Driveを使用する（Android版・iOS版 共通）
- ・iTunesを使用する（iOS版のみ）

インターネットを経由する（CIMPHONY Plusを使用する、RICOH Driveを使用する）と、PCとスマートフォンが離れた場所（事務所と現場など）にある場合でも黒板や写真データを転送できます。



## 2

# コンクリート品質管理で工種分類を作成する

EX-TREND武蔵 コンクリート品質管理で工種分類を作成します。

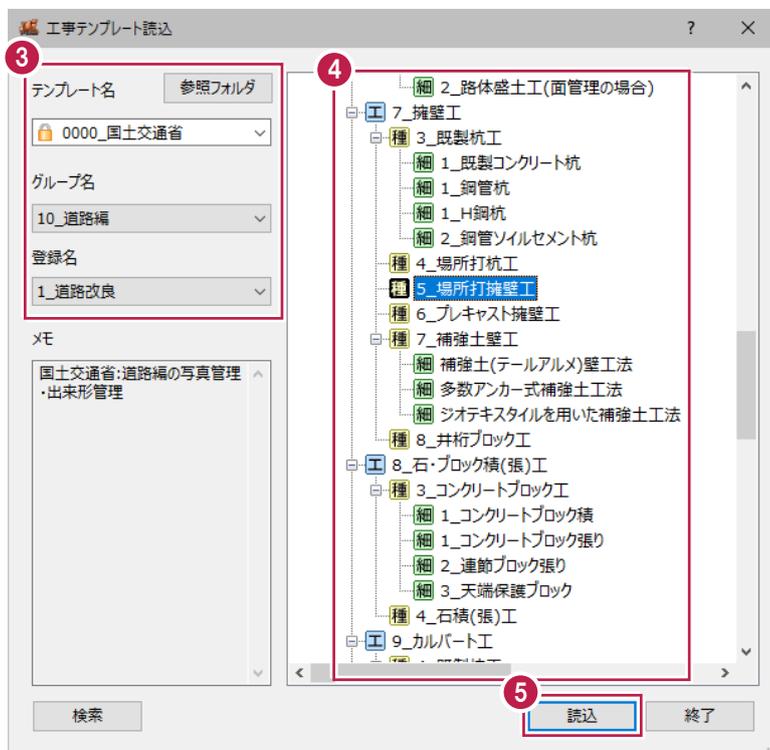
## 工種分類を作成する

EX-TREND武蔵 コンクリート品質管理で工種分類を作成して、配合・測定項目・打設日・規格値を設定します。  
ここでは、工事テンプレートから分類を読み込みます。

1. コンクリート品質管理の作業の開始ダイアログで [他の方法で分類作成] をクリックします。
2. [工事用テンプレート] をクリックします。



3. [テンプレート名] [グループ名] [登録名] を選択します。
4. 読み込む分類を選択します。
5. [読込] をクリックします。  
分類が読み込まれます。



6. [コンクリート配合] [測定者] などを入力します。  
ここでは [コンクリート配合マスタ] をクリックします。
7. 読み込むマスタを選択します。
8. [OK] をクリックします。



9. [OK] をクリックします。

新規作成

工程: 場所打擁壁工

コンクリート配合: 24 - 8 - 25 N

測定者: 現場一部

メモ

9 OK キャンセル

10. 分類を選択します。

11. [作業開始] をクリックします。

作業の開始

コンクリート品質管理作業を開始します。  
～リストから分類を選んで「作業開始」ボタンをクリックして下さい！～

最新に更新

種	コンクリート配合	更新日時
場所打擁壁工	24-8-25N	2023/11/15 9:56:39

新規で分類作成  
他の方法で分類作成  
分類編集  
どこでも写真管理Plus

分類の情報

[測定項目] [測定者] [打設日: 0] [フォーム] 変更

温度  
スランプ  
空気量  
圧縮強度 7日標準  
圧縮強度 7日現場  
圧縮強度 28日標準(推定)  
圧縮強度 28日現場(推定)  
圧縮強度 28日標準  
圧縮強度 28日現場

現場一部  
メモ

打設日

コンクリート品質管理 履歴	
測定項目	測定値
温度	
スランプ	
空気量	
圧縮強度 7日標準	
圧縮強度 7日現場	
圧縮強度 28日標準(推定)	
圧縮強度 28日現場(推定)	
圧縮強度 28日標準	
圧縮強度 28日現場	

1 / 1

11 作業開始 終了

## 12. [取り消して終了] をクリックします。

## 13. データ入力画面で、測定項目ごとの打設日・打設箇所・打設量・規格値を設定します。

No.	打設日	打設箇所	打設量	測定値1	測定値2	測定値3	測定値4
1	2023/11/14	No.1~No.3	63.00				
2	2023/11/18	No.4~No.6	100.00				
3							

## 使用するコンクリートの情報や測定項目ごとの規格値、測定条件の設定

使用するコンクリートの情報や測定項目ごとの規格値、測定条件は [条件設定] で設定します。

コンクリート品質管理 - 場所打掃壁工-24-8-25N\*

ファイル(F) 編集(E) データ入力(X) 成果編集(L) 表示(V) 設定(S)

データ入力 成果編集

分類開く

コンクリート試験一覧表 / 7項目-1

ページ1

条件設定

日追加

写真管理

日毎入力

測定項目 測定記号 No.

1	2023/
2	2023/
3	

温度

スラブ

空気量

圧縮強度 7日標準

コンクリート条件設定

コンクリート配合  
配合 : 24-8-25N

コンクリート種類 普通コンクリート 重量配合比 1 : :  
セメント種類 普通ポルトランドセメント セメント重量 150.0 kg/m3  
メーカー名 湿和剤種類 AE剤  
水セメント比 55.0 % 湿和剤使用量 0.730 kg/m3  
細骨材率 43.5 % 単位水量 150.000 kg/m3  
粗骨材最大寸法 25 mm

測定項目 スラブ 社内規格値一括%指定  
規格値 8.0  社内規格値を%指定する 80

項目	上下限値				社内規格値			
	下限	下限(差)	上限	上限(差)	下限	下限(差)	上限	上限(差)
1 測定値	5.5	-2.5	10.5	2.5	6.0	-2.0	10.0	2.0

単位 cm 入力桁数 1桁

日標準量 測定方法  
試料大きさ 1回 2測定 作業機械名 スラブ試験器  
試料間隔 打設日ごと 備考

OK キャンセル

コンクリート情報

規格値

測定条件

# 3

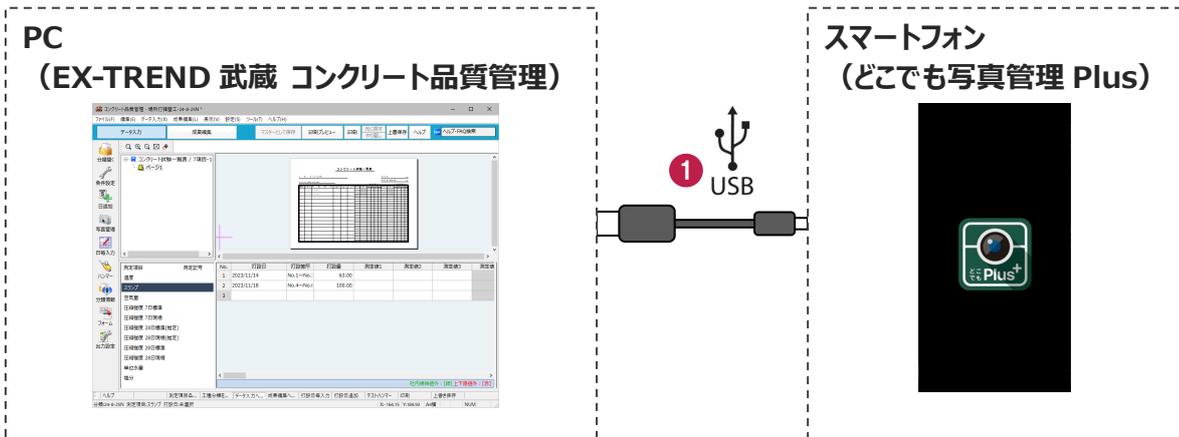
## 工種分類データをどこでも写真管理 Plus に転送する

工種分類データをスマホアプリ「どこでも写真管理Plus」に転送します。

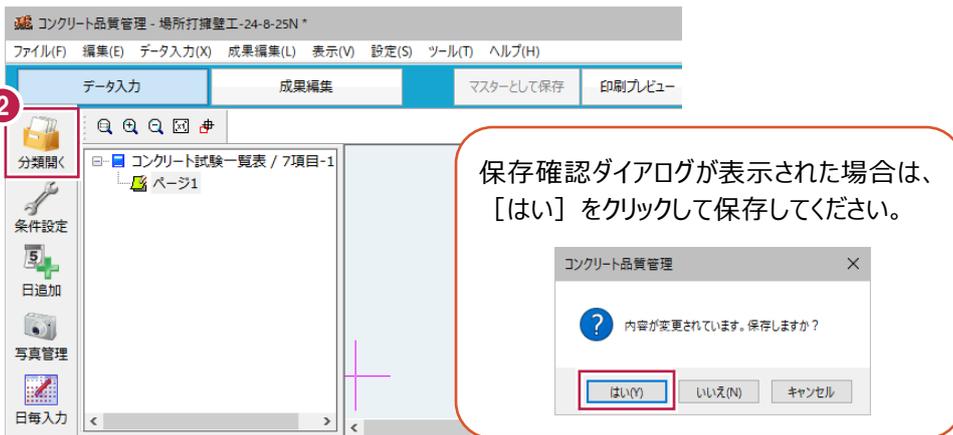
### 工種分類データを転送する

PCとスマートフォンをUSBケーブルで接続して、工種分類データをどこでも写真管理Plusに転送します。

#### 1. PCとスマートフォンをUSBケーブルで接続します。



#### 2. コンクリート品質管理で [分類開く] をクリックします。



3. [どこでも写真管理Plus] をクリックします。

4. [データ転送] (左側) をクリックします。

※データを転送するには、「黑板作成・連携ツール」がインストールされている必要があります。



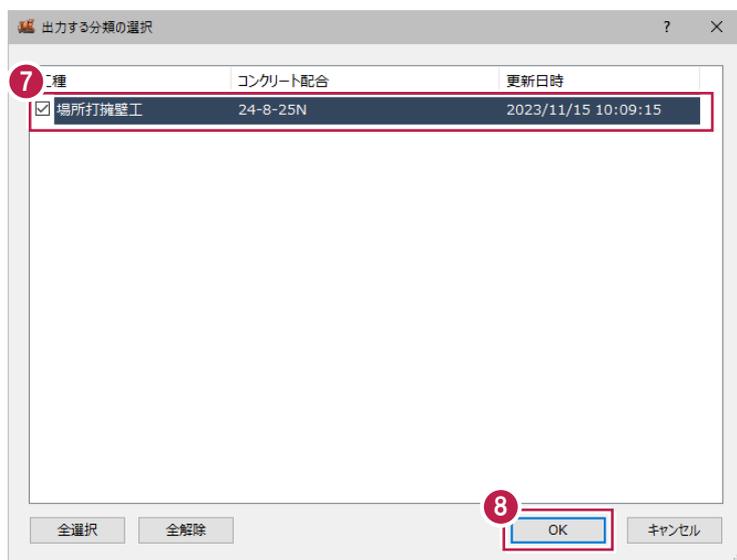
5. 接続先は [USB] を選択します。

6. [OK] をクリックします。



7. 転送する工種分類をオンにします。

8. [OK] をクリックします。



9. [OK] をクリックします。

データが転送されます。

転送後はPCとスマートフォンからUSBケーブルを抜いて切り離してください。



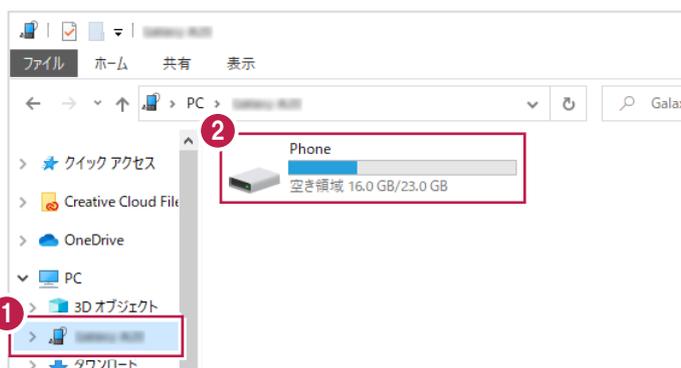
## USB 接続でデータの転送が失敗する場合

USBで接続したスマートフォンへのデータの転送が失敗する場合は、以下を確認してください。

### ●PCのエクスプローラーでスマートフォン内のファイルが確認できますか？

正しくUSB接続されている場合は、PCのエクスプローラーでスマートフォン内のファイルが確認できます。  
以下の操作で確認してください。

1. USB接続した状態でPCのエクスプローラーを開き、[PC] の下層にある「接続したスマートフォン名」をクリックします。
2. スマートフォン内の「Phone（内部ストレージ）」が表示されれば、正しく接続されています。



PCのエクスプローラーで

- ・接続したスマートフォン名が表示されない
- ・スマートフォン名をクリックしても何も表示されない
- ・エクスプローラーでは正常に見えるが、転送に失敗する

等の場合は、以下を確認してください。

### ●スマートフォンの電源は入っていますか？

スマートフォンの電源がオフになっていると転送できません。  
電源を入れてください。

### ●スマートフォンが画面ロックされていませんか？

スマートフォンがパスワードやパターンなどで画面ロックされていると転送できません。  
画面ロックを解除してください。

### ●正常なUSBケーブルで接続していますか？

「充電専用」のUSBケーブルでは転送できません。  
また、USBケーブルの不具合の可能性もあるので、他のUSBケーブルで接続してください。

### ●どこでも写真管理Plusが起動していませんか？

スマートフォンで【どこでも写真管理Plus】が起動している場合は、終了してください。

### ●スマートフォンにSDカードが入っていませんか？

スマートフォンにSDカードが入っていると転送が失敗する場合があります。  
SDカードのマウントを解除してください。

(次ページへ続きます)

## ● USB接続が【充電】モードになっていませんか？

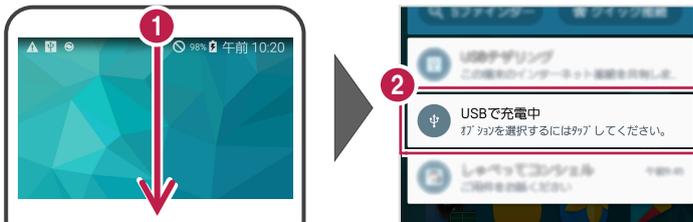
スマートフォン側のUSB接続が【充電】モードになっていると転送できません。

以下の操作でUSB接続を【メディアファイルを転送】（MTP接続）に変更してください。

1. USB接続した状態で、スマートフォンの画面上部から下に指をスライド（スワイプ）し、通知領域を表示します。

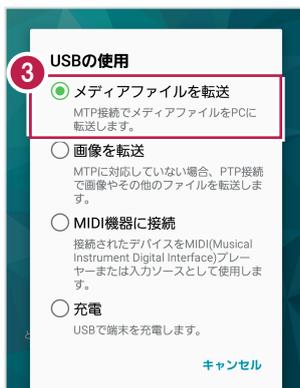
※通知領域のデザインや表示される内容は、スマートフォンにより異なる場合があります。

2. 【USBで充電中】をタップします。



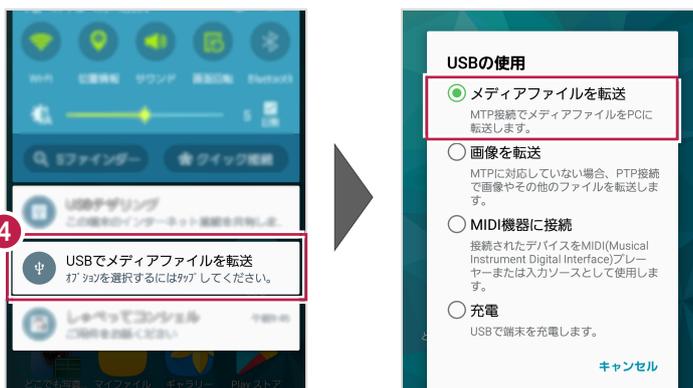
3. 【メディアファイルを転送】をタップします。（MTP接続にします。）

以上の操作で転送できるか試してください。



4. 【メディアファイルを転送】に変更しても転送できない場合は、

同操作で再度【メディアファイルを転送】（MTP接続）を指定し直してください。



# 4

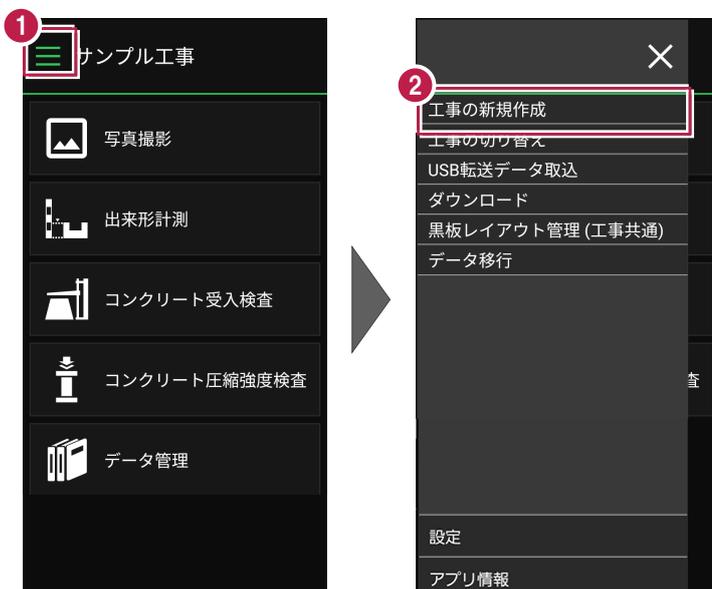
## どこでも写真管理 Plus で品質データを入力する

コンクリート品質管理から転送した工種分類を使用して、どこでも写真管理Plusで品質データを入力します。

### 工事データを作成する

スマホアプリ「どこでも写真管理Plus」で工種分類データの転送先となる工事データを作成します。

1. スマートフォンで [どこでも写真管理Plus] を起動し、メインメニュー画面のメニューボタンをタップします。
2. [工事の新規作成] をタップします。



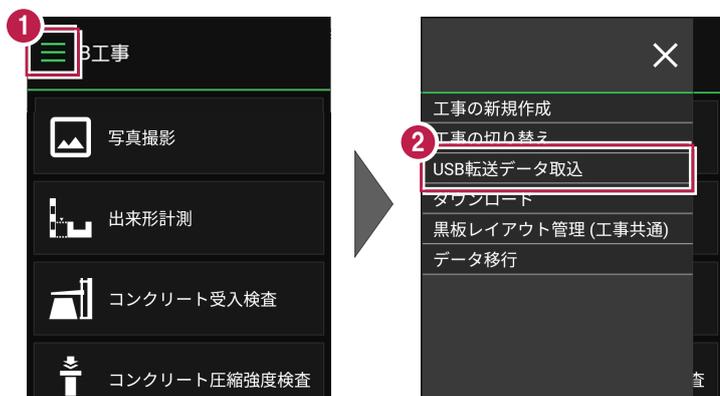
3. [工事名] [河川路線名] [受注者名] を入力します。
4. [作成] をタップします。  
作成した工事が表示されます。



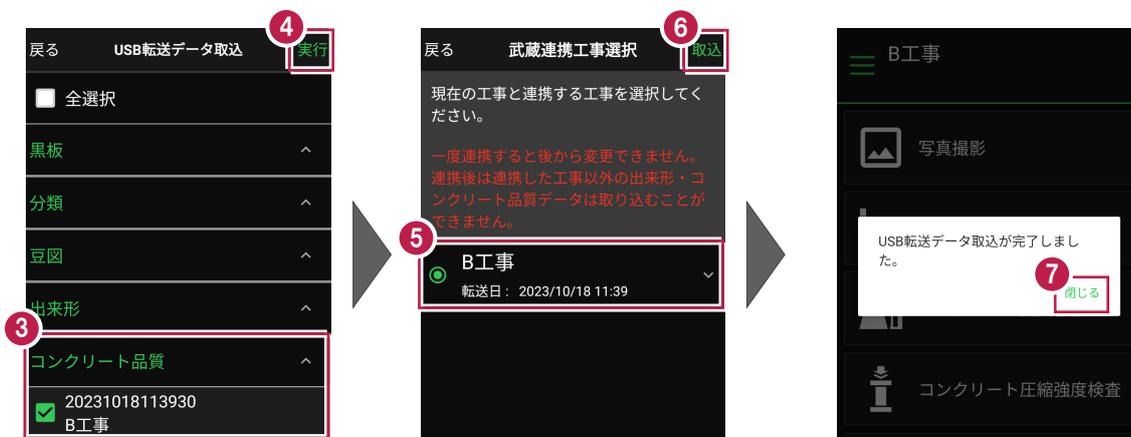
## 工種分類データを取り込む

どこでも写真管理Plusにコンクリート品質管理から転送した工種分類データを取り込みます。

1. どこでも写真管理Plusで作成した工事のメインメニュー画面を開き、メニューボタンをタップします。
2. [USB転送データ取込] をタップします。



3. 取り込むデータを選択します。
4. [実行] をタップします。
5. データの取り込み元工事を選択します。(初回のみ)  
※取り込み元工事を選択し直すことはできないため、慎重に操作してください。
6. [取込] をタップします。
7. [閉じる] をタップします。  
データが取り込まれます。



補足+

### 取り込んだ工種分類データを確認する

取り込んだ工種分類データは [データ管理] の [コンクリート品質] で確認・削除できます。



補足+

### 黒板レイアウトを取り込む

黒板作成・連携ツールの [黒板レイアウト作成ツール] で作成した黒板レイアウトを取り込みます。

※RICOH Drive経由では取り込めません。



iOSの場合、iTunes経由でも取り込みが可能です。





## 実測値を入力する

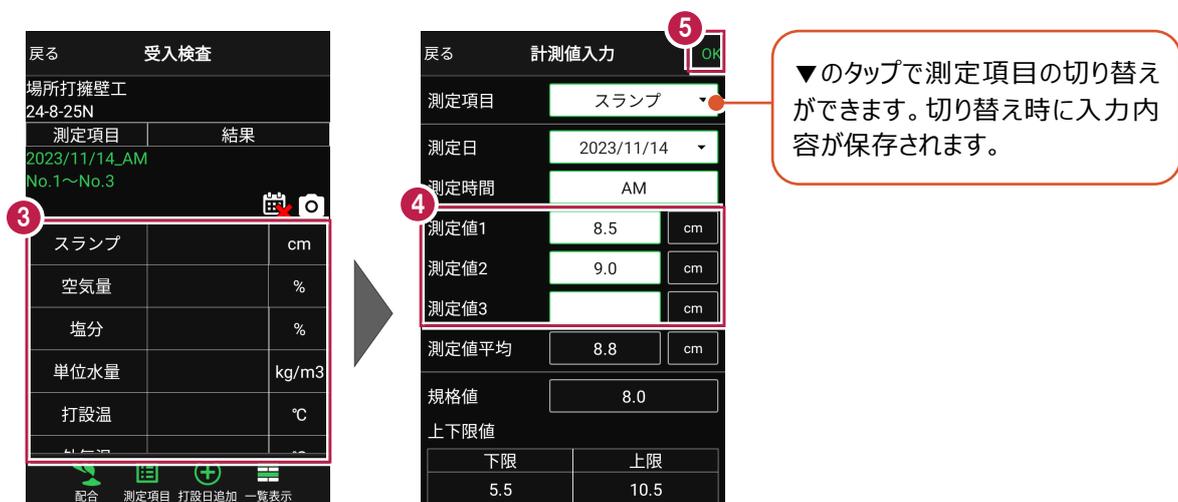
実測値を入力します。

1. メインメニュー画面で「コンクリート受入検査」をタップします。
2. ツリーを展開して、配合をタップします。



3. 測定結果をタップします。
4. 測定値を入力します。
5. [OK] をタップして、受入検査画面に戻ります。

(受入検査画面、計測値入力画面の詳細はヘルプを参照してください。)



## コンクリート品質写真を撮影する

コンクリート品質写真を撮影します。

1. 写真を撮影する打設日、打設箇所のカメラボタンをタップします。  
写真撮影画面が表示されます。



測定項目	結果
2023/11/14_AM No.1~No.3	
スランプ	8.8 cm
空気量	4.8 %
塩分	0.0133 %
単位水量	150.000 kg/m <sup>3</sup>
打設温	13 °C

写真撮影画面を起動した際に、各種動作の許可を求めるメッセージが表示されることがあります。

メッセージが表示された場合は、**[許可]** をタップしてください。

2. 黒板をタップします。



エラーがある場合に表示されます。  
エラーマークをタップするとエラー情報が表示され、エラー内容をタップすると写真情報を編集できます。

黒板に計測データが反映されます。

3. 黒板編集画面で文字属性や写真情報を設定します。

(編集方法はヘルプを参照してください。)

4. [戻る] をタップして、写真撮影画面に戻ります。



文字属性モード/写真情報モードを切り替えて、黒板を編集します。

5. 撮影ボタンをタップします。

(写真撮影画面の詳細はヘルプを参照してください。)



黒板をドラッグすると、移動できます。  
初期設定で黒板四隅のトラッカーをドラッグすると、拡大・縮小できます。

初期設定で端末を回転すると、  
写真撮影画面と撮影した写真も同じ向きになります。

6. [保存] をタップします。

写真が保存され、写真撮影画面に戻ります。

7. 戻るボタンをタップして、計測画面に戻ります。



8. 同様に、他の打設日、打設箇所の測定値を入力して写真を撮影します。

9. [戻る] をタップして、工種一覧画面に戻ります。

10. [戻る] をタップして、メインメニュー画面に戻ります。



## 黒板レイアウトを変更する

黒板レイアウトを変更したい場合は、黒板編集画面の「レイアウト変更」からレイアウトを選択してください。

戻る 黒板編集 写真情報

工事名	新規工事		
打設年月日	2023/11/15	立会者	
コンクリート 打設箇所	No.1~No.3		
採取時の コンクリート 試料	スラブ 厚	8.8 cm	空気量 4.8 %
実測値	外気温	13 ℃	
配合	塩化物質	0.020 kg/m <sup>3</sup>	
備考	18-B-20N		
施工者			

Aa 文字属性  
写真情報  
レイアウト変更  
設定

戻る 黒板レイアウト一覧

マスター黒板 ユーザー黒板

工事名 打設年月日 打設箇所 採取時の コンクリート 試料 実測値 配合 備考 施工者	工事名 打設年月日 打設箇所 採取時の コンクリート 試料 実測値 配合 備考 施工者	工事名 打設年月日 打設箇所 採取時の コンクリート 試料 実測値 配合 備考 施工者
コンクリート受入検査1	コンクリート受入検査2	圧縮強度試験1

戻る 黒板レイアウト一覧

マスター黒板 ユーザー黒板

工事名
工事名_横1型

## 【コンクリート圧縮強度検査】の場合

【コンクリート受入検査】と同様の流れで操作ができます。入力画面が一部異なります。



キャンセル 計測値入力 保存

測定項目名 記号  
 圧縮強度 3日標準 N

圧縮試験日 2023/10/16

測定時間 AM

1回目  2回目  3回目

重量 3.82 kg

最大荷重 246 kN

圧縮強度 13.5 N/mm<sup>2</sup>

平均強度 13.0 N/mm<sup>2</sup>

設計強度 24.0

上下限值

回数を切り替えて検査結果を入力できます。切り替え時に入力値は保持されます。

入力完了後は【保存】で圧縮強度検査画面に戻ります。

戻る 圧縮強度検査

場所打擁壁工  
24-8-25N

測定項目 圧縮強度 3日標準

2023/11/14\_AM  
No.1~No.3

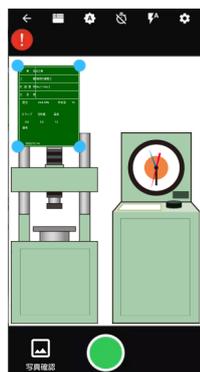
圧縮試験日 2023/10/16

	重量 (kg)	最大荷重 (kN)	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )
1	3.82	246	13.5
2	3.82	239	12.5
3	3.83	238	13.0

配合 圧縮強度 打設日追加 一覧表示

同様に、他の測定項目の検査結果を入力できます。

検査結果の入力完了後は【戻る】で職種一覧、メインメニューに戻ります。カメラボタンをタップして撮影もできます。



戻る 黒板編集 写真情報

工事名	B工事		
施工者			
採取日	2023/11/14	試験日	2023/10/16
配合	24-8-25N	材令	-29日
スランブ	8.8	圧縮強度試験	
測定値	空気量 5.0	①	13.5
	コンクリート量 13	②	12.5
	養生方法 標準	③	13.0
		平均	13.0
備考	立会者		

Aa 文字属性

写真情報

レイアウト変更

設定

# 5

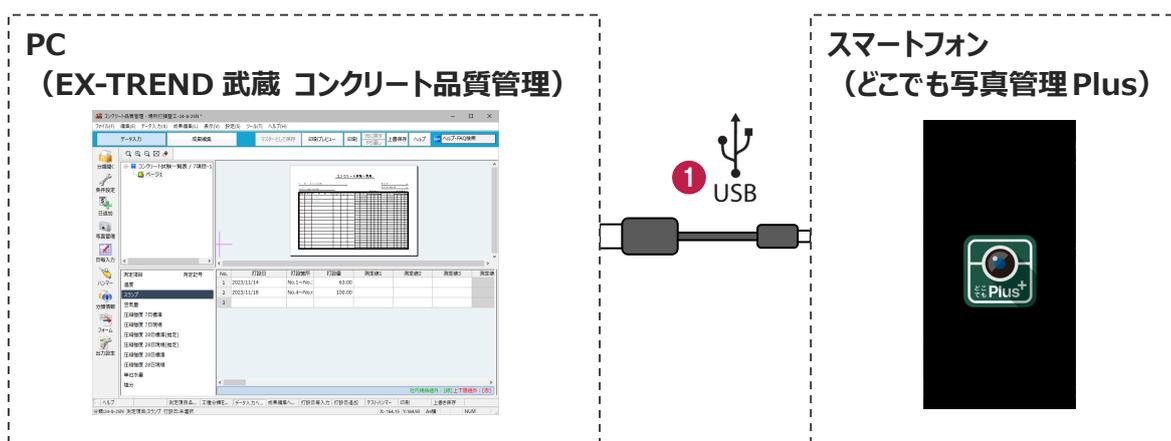
## 品質データをコンクリート品質管理に取り込む

EX-TREND武蔵 コンクリート品質管理にコンクリート品質データを取り込みます。

### コンクリート品質データを出力する

PCとスマートフォンをUSBケーブルで接続して、どこでも写真管理Plusからコンクリート品質データを出力します。

1. PCとスマートフォンをUSBケーブルで接続します。



2. どこでも写真管理Plusのメインメニュー画面で [データ管理] をタップします。
3. [コンクリート品質] をタップします。
4. [選択] をタップします。



5. 出力するコンクリート品質データのチェックをオンにします。

6. [出力] をタップします。

7. [USB] をタップします。

8. [閉じる] をタップします。

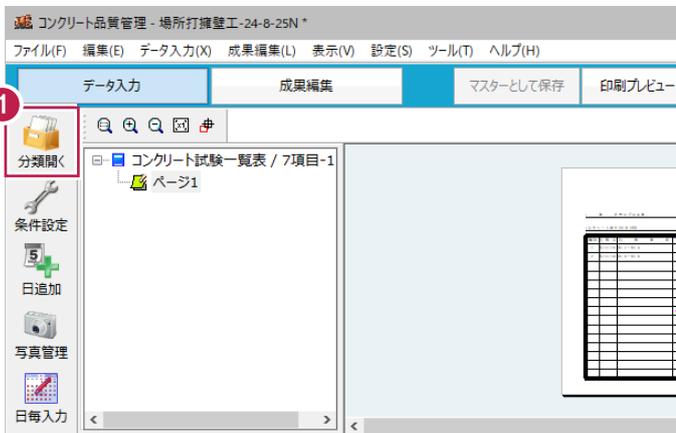
データが出力されます。



# コンクリート品質データを取り込む

EX-TREND武蔵 コンクリート品質管理にコンクリート品質データを取り込みます。

## 1. コンクリート品質管理で「分類開く」をクリックします。



## 2. 「どこでも写真管理Plus」をクリックします。

## 3. 「データ取込」をクリックします。

※データを取り込むには、「黑板作成・連携ツール」がインストールされている必要があります。



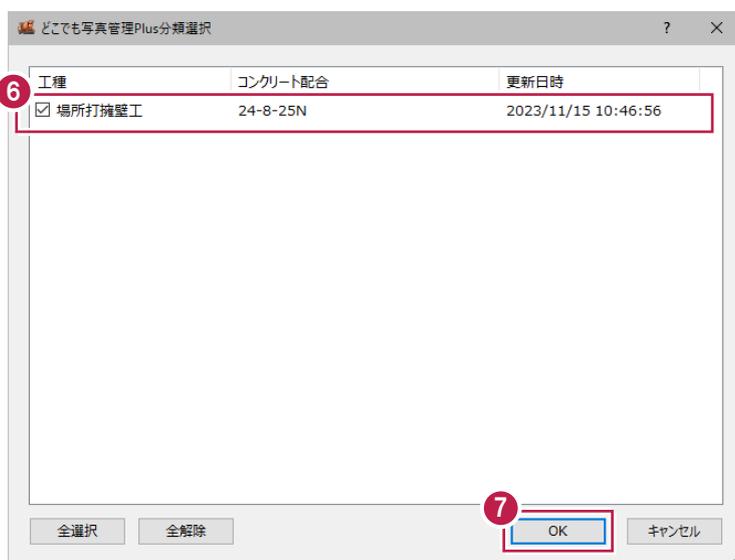
4. 接続先は [USB] を選択します。

5. [OK] をクリックします。



6. 取り込む工種分類をオンにします。

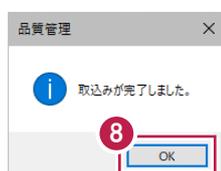
7. [OK] をクリックします。



8. [OK] をクリックします。

データが取り込まれます。

取り込み後はPCとスマートフォンからUSBケーブルを抜いて切り離してください。



9. 分類を選択します。

10. [作業開始] をクリックします。

11. [更新して終了] を選択します。

コンクリート品質データが取り込まれていることが確認できます。

作業の開始

コンクリート品質管理作業を開始します。  
~リストから分類を選んで「作業開始」ボタンをクリックして下さい！~

最新に更新

工程	コンクリート配合	更新日時
場所打擁壁工	24-8-25N	2023/11/15 10:5...

新規で分類作成  
他の方法で分類作成  
分類編集  
どこでも写真管理Plus

分類の情報

[測定項目] 測定者 [打設日: 2] [フォーム] 変更

温度  
スランプ  
空気量  
圧縮強度 7日標準  
圧縮強度 7日現場  
圧縮強度 28日標準(推定)  
圧縮強度 28日現場(推定)  
圧縮強度 28日標準  
圧縮強度 28日現場

測定者 現場一郎

メモ

打設日  
2023/11/14  
2023/11/18

1 / 1

作業開始 終了

打設日毎入力

打設日	打設時間	打設箇所
2023/11/14	AM	No.1~N...
2023/11/18	AM	No.4~N...

打設日 2023年 11月 14日 打設時間 AM 打設箇所 No.1~No.3

打設量 63.00 m3 天気 晴れ 備考

温度 スランプ 空気量 圧縮強度 単位水量 塩分

社内規格値外: [緑] 上下限値外: [赤]

測定値1 8.5 cm  
測定値2 9.0 cm  
測定値3 cm  
測定値平均 8.8 cm

写真管理  
更新して終了  
取り消して終了

コンクリート品質管理 - 場所打攪壁工-24-8-25N

ファイル(F) 編集(E) データ入力(X) 成果編集(L) 表示(V) 設定(S) ツール(T) ヘルプ(H)

データ入力 成果編集 マスターとして保存 印刷プレビュー 印刷 元に戻す やり直し 上書き保存 ヘルプ ヘルプ・FAQ検索

分類開く 条件設定 日追加 写真管理 日毎入力

ハンマー 分類情報 フォーム 出力設定

測定項目 測定記号

温度  
スラブ  
空気量  
圧縮強度 7日標準  
圧縮強度 7日現場  
圧縮強度 28日標準(推定)  
圧縮強度 28日現場(推定)  
圧縮強度 28日標準  
圧縮強度 28日現場  
単位水量  
塩分

コンクリート試験一覧表 / 7項目-1  
ページ1

コンクリート試験一覧表

No.	打設箇所	打設量	測定値1	測定値2	測定値3	測定値平均	伸率
1	No.1~No.3	63.00	8.5	9.0		8.8	
2	No.4~No.6	100.00					
3							

社内規格値外: [緑] 上下限値外: [赤]

ヘルプ 測定項目検索... 工種分類を... データ入力へ... 成果編集へ... 打設日毎入力 打設日追加 テストハンマー 印刷 上書き保存

分類:24-8-25N 測定項目:スラブ 打設日:2023/11/14 X:-197.49 Y:164.95 A4横 NUM

# 6

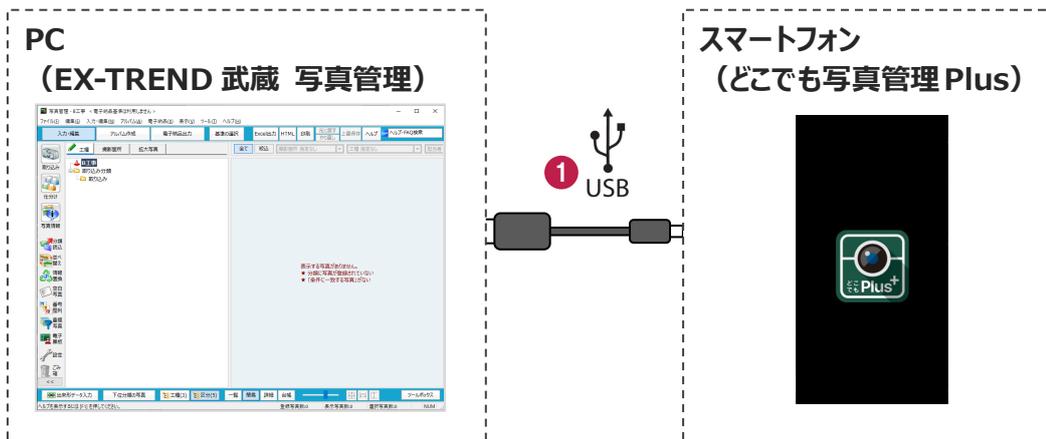
## コンクリート品質写真を写真管理に取り込む

EX-TREND武蔵 写真管理にコンクリート品質写真を取り込みます。

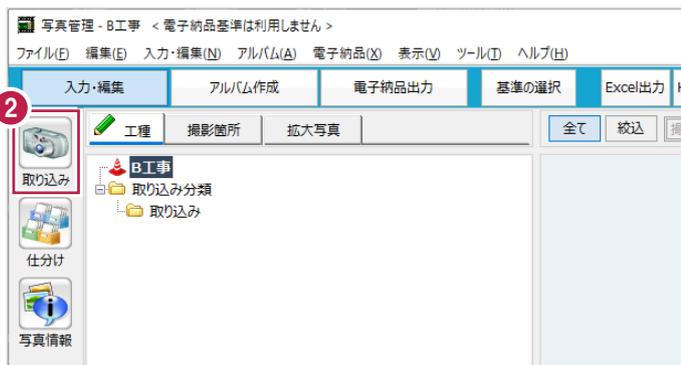
### 写真を取り込む

PCとスマートフォンをUSBケーブルで接続して、EX-TREND武蔵 写真管理に写真を取り込みます。

1. PCとスマートフォンをUSBケーブルで接続します。

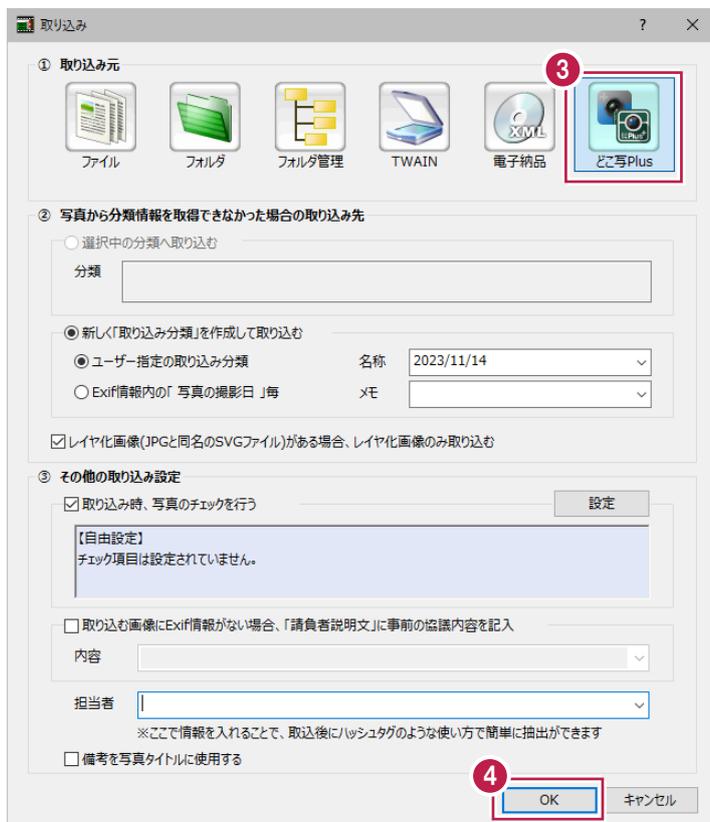


2. 写真管理で [取り込み] をクリックします。



3. [どこ写Plus] を選択します。

4. [OK] をクリックします。



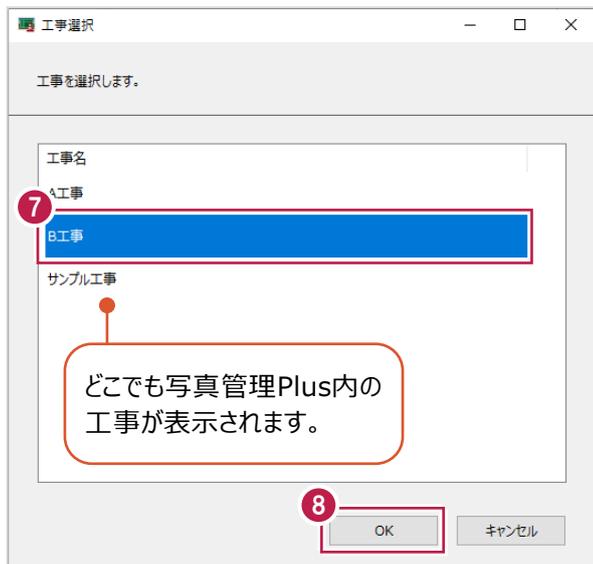
5. 接続先は [USB] を選択します。

6. [OK] をクリックします。



7. 写真を取り込む工事を選択します。

8. [OK] をクリックします。



9. 画像の取得対象を選択します。

10. [OK] をクリックします。



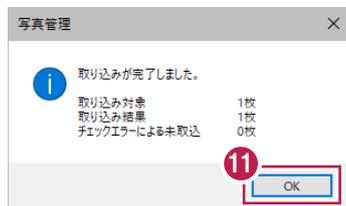
**【まだ取得していない写真】**  
一度も取得していない写真のみ取り込みます。

**【指定期間の写真】**  
指定した期間内の写真をすべて取り込みます。

## 11. [OK] をクリックします。

写真が取り込まれます。

取り込み後はPCとスマートフォンからUSBケーブルを抜いて切り離してください。



## 補足+

### 写真管理とどこでも写真管理 Plus の工事情報が異なる場合

写真管理とどこでも写真管理Plusの工事名称や受注者名が異なる場合は、工事情報の選択ダイアログが表示されます。どちらを利用するか選択してください。

